



概要

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [外部機能 \(1 ページ\)](#)
- [サービス可能なコンポーネントの場所 \(4 ページ\)](#)
- [サーバ機能の概要 \(6 ページ\)](#)

概要

Cisco Application Services Engine provides a common platform for deploying Cisco Data Center applications. これらのアプリケーションは、ポリシーとインフラストラクチャのリアルタイム分析、可視性、および保証を提供します。

Cisco Application Services Engine アプリケーションをインストールしてホストするには、Cisco Application Services Engine サーバが必要です。

サーバは次のバージョンで構成可能です。

- SE-CL-L3 ー スモール フォーム ファクタ (SFF) ドライブ、10 ドライブ バックプレーン付き。最大 10 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。ドライブベイ 1 および 2 は NVMe SSD をサポート。

外部機能

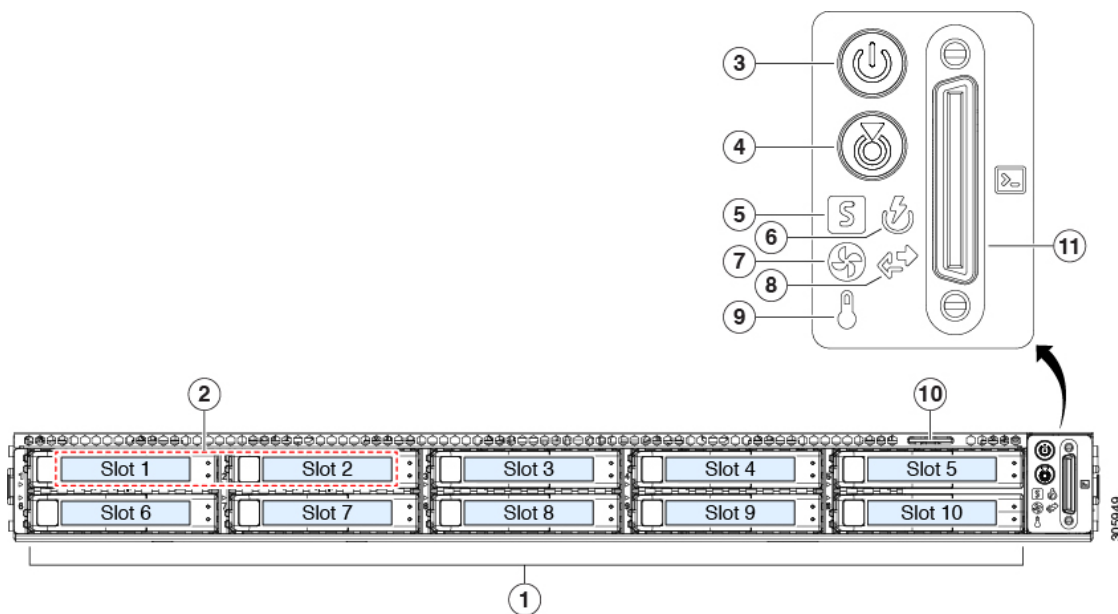
このトピックでは、各サーバ バージョンの外部機能について説明します。

Cisco SE-CL-L3 (SFF ドライブ) 前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

図 1: Cisco SE-CL-L3 (SFF ドライブ) 前面パネルの機能



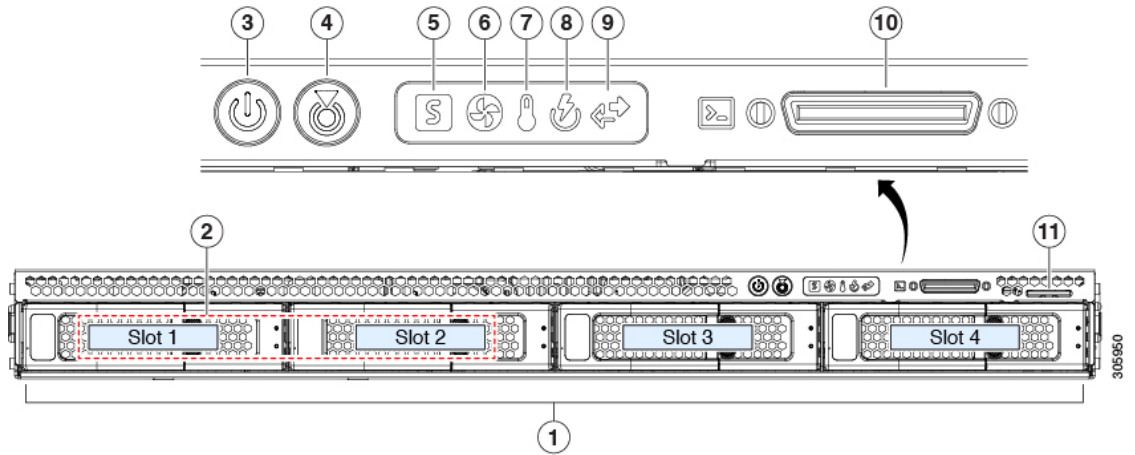
1	ドライブ ベイ 1 ~ 10 は SAS/SATA ハードディスク ドライブ (HDD) およびソリッドステート ドライブ (SSD) をサポート。	7	ファン ステータス LED
2	<ul style="list-style-type: none"> SE-CL-L3: ドライブベイ 1 および 2 で NVMe PCIe SSD をサポート。 	8	ネットワーク リンク アクティビティ LED
3	電源ボタン/電源ステータス LED	9	温度ステータス LED
4	ユニット識別ボタン/LED	10	引き抜きアセットタグ
5	システム ステータス LED	11	KVM コネクタ (DB-15 VGA 1 個、DB-9 シリアル 1 個、および USB コネクタ 2 個を装備した KVM ケーブルとともに使用)
6	電源ステータス LED	-	

31SE-CL-L3 (LFF ドライブ) 前面パネルの機能

次の図に、大型フォームファクタのドライブバージョンのサーバーの前面パネルの機構を示します。

LED の状態の定義については、「[前面パネルの LED](#)」を参照してください。

図 2: 31SE-CL-L3 (LFF ドライブ) 前面パネルの機能



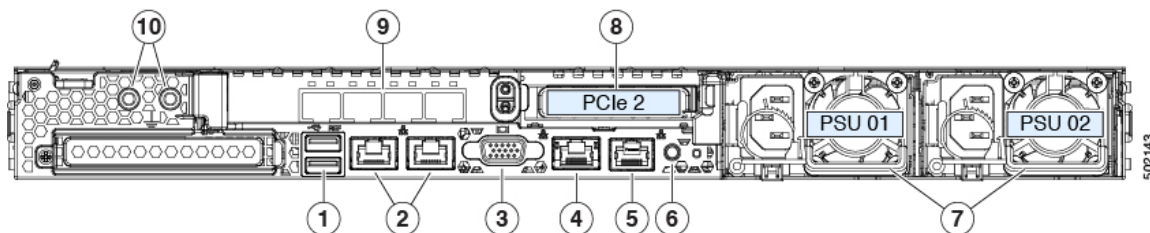
1	ドライブベイ 1～4 は SAS/SATA HDD および SSD をサポート。	7	温度ステータス LED
2	ドライブベイ 1 および 2 で NVMe PCIe SSD をサポート。 2.5 インチ SSD を使用する場合は、サイズ変換ドライブスレッドが必要です。	8	電源装置ステータス LED
3	電源ボタン/電源ステータス LED	9	ネットワーク リンク アクティビティ LED
4	ユニット識別ボタン/LED	10	KVM コネクタ (DB-15 VGA 1 個、DB-9 シリアル 1 個、および USB コネクタ 2 個を装備した KVM ケーブルとともに使用)
5	システムヘルス LED	11	引き抜きアセット タグ
6	ファンステータス LED	-	

SE-CL-L3 背面パネルの機能

背面パネルの機能は、サーバーのバージョンすべてで同一です。

LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。

図 3: SE-CL-L3 背面パネル



1	USB 3.0 ポート (2 個)	6	背面ユニット識別ボタン/LED
2	デュアル 1 Gb/10 Gb イーサネットポート (LAN1 と LAN2) デュアル LAN ポートは、リンク パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。 これらはそれぞれ eth1-1 (eth0) および eth1-2 (eth1) に対応します。	7	電源装置 (2、1+1 として冗長)
3	VGA ビデオポート (DB-15 コネクタ)	8	PCIe ライザー 1/スロット 1 (x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブル コネクタが付属
4	1 Gb イーサネット専用管理ポート	9	クワッド 10 Gb / 25 Gb ポート。 これらは eth 2-1 ~ eth 2-4 に対応します。 アクティブ/スタンバイモードでは、4つのうち 2つのインターフェイスのみがアクティブになります (eth2-1 / 2-2 または eth2-3 / 2-4)。
5	シリアルポート (RJ-45 コネクタ)	10	デュアルホールアース ラグ用ネジ穴

サービス可能なコンポーネントの場所

このトピックでは、フィールド交換可能コンポーネントとサービス関連アイテムの位置を示します。次の図に、上部カバーを取り外した状態のサーバーを示します。

図 4: SE-CL-L3、サービス可能なコンポーネントの場所



1	フロントロードドライブベイ 1～10 は SAS/SATA ドライブをサポート。 <ul style="list-style-type: none"> SE-CL-L3: ドライブベイ 1 および 2 で NVMe PCIe SSD をサポート。 	10	電源ユニット (1+1 冗長の場合にホットスワップ可能)
2	冷却ファンモジュール (7 個、ホットスワップ可能)	11	マザーボード上のトラステッドプラットフォームモジュール (TPM) ソケット (図では非表示)
3	Supercap ユニット取り付けブラケット (RAID バックアップ)	12	PCIe ライザー 2/スロット 2 (ハーフハイト、x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属
4	マザーボード上の DIMM ソケット (CPU あたり 12 個)	13	PCIe ライザー 1/スロット 1 (フルハイト、x16 レーン) microSD カード用のソケットが付属
5	CPU およびヒートシンク (最大 2)	14	シャーシ床面 (x16 PCIe レーン) 上のモジュラ LOM (mLOM) カードベイ (図では非表示)
6	ミニストレージモジュールソケット。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 2 台の SD カードスロットを備えた SD カードモジュール。 2 台の SATA M.2 ドライブまたは 2 台の NVMe M.2 ドライブ用のスロットを備えた M.2 モジュール Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA M.2 ドライブ用に 2 台のスロットを備えたモジュールと、RAID 1 アレイの 2 台の M.2 ドライブを制御できる内蔵 SATA RAID コントローラ) 	15	モジュラ RAID (mRAID) ライザー。オプションで以下のいずれかをサポート。 <ul style="list-style-type: none"> ハードウェア RAID コントローラカード 組み込みの SATA RAID 用インタポーザカード
7	シャーシ侵入スイッチ (任意)	16	PCIe ライザー 2 のフロントロード NVMe SSD 用の PCIe ケーブルコネクタ
8	マザーボード上の内部 USB 3.0 ポート	17	PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット
9	RTC バッテリ、垂直ソケット	-	

サーバ機能の概要

以下の表に、サーバ機能の概要を示します。

機能	説明
シャーシ	1ラックユニット (1RU) シャーシ
セントラル プロセッサ	最大2個のインテル Xeon スケーラブル・プロセッサファミリーCPU。これには次のシリーズのCPUが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> インテル Xeon Silver 4XXX プロセッサ
メモリ	マザーボード上に24個のDDR4DIMMソケット搭載 (CPUあたり12個)。
マルチビット エラー保護	マルチビット エラー保護をサポートします。
ベースボード管理	BMCは、Cisco IMC (Cisco Integrated Management Controller) ファームウェアを動作させます。 Cisco IMCの設定に応じて、1GB専用管理ポート、1Gb/10GbイーサネットLANポート、または、シスコ仮想インターフェイスカードを利用してCisco IMCにアクセスできます。
ネットワークおよび管理 I/O	背面パネル： <ul style="list-style-type: none"> 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ) 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 (RJ-45 コネクタ) デュアルLANポートは、リンク パートナーの機能に応じて1 Gbps および10 Gbps をサポートできます。 <ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ポート (RJ-45 コネクタ) X 1 VGA ビデオ コネクタ ポート X 1 (DB-15 コネクタ) USB 3.0 ポート X 2 前面パネル： <ul style="list-style-type: none"> USB 2.0 X 2、VGA X 1、DB-9 シリアル コネクタ X 1 を装備したキーボード/ビデオ/マウス (KVM) ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1

機能	説明
モジュラ LOM	背面パネルの追加接続用に、mLOM カードを追加するために使用できる専用ソケット (X 16 PCIe レーン) X 1。
電源	1 つの電源モジュール <ul style="list-style-type: none">• AC 電源装置の場合、各台に 1050 W AC を設置
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
冷却ファン	ホットスワップ可能なファン モジュール (前面から背面に向かう冷却用) X 7。
PCIe I/O	2 つの水平 PCIe 拡張スロット (PCIe ライザーアセンブリ上)。 スロットの仕様については、 PCIe スロットの仕様 を参照してください。
InfiniBand	このサーバの PCIe バス スロットで InfiniBand アーキテクチャをサポートします。
ストレージ、前面パネル	サーバは、それぞれ異なる前面パネル/ドライブ バックプレーン構成を持つ、3 種類のバージョンで注文可能です。 <ul style="list-style-type: none">• SE-CL-L3、スモールフォーム ファクタ (SFF) ドライブ、10 ドライブ バックプレーン付き。最大 10 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。ドライブ ベイ 1 および 2 は NVMe SSD をサポート。

機能	説明
ストレージ、内部	<p>サーバには、以下の内蔵ストレージオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • マザーボード上の USB ポート X 1。 • PCIe ライザー 1 の microSD カード ソケット X 1。 • ミニストレージ モジュール ソケット。オプションで次のいずれかが付属します。 <ul style="list-style-type: none"> • SD カードモジュール。最大 2 枚の SD カードをサポート。 • M.2 SSD モジュール。2 つの SATA M.2 SSD または 2 つの NVMe M.2 SSD のいずれかをサポートします。 • Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA M.2 ドライブ用に 2 台のスロットを備えたモジュールと、RAID 1 アレイの 2 台の SATA M.2 ドライブを制御できる内蔵 SATA RAID コントローラ)
ストレージ管理	<p>サーバには、次のいずれかのストレージコントローラ オプションをサポートする専用の内部 mRAID ライザーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PCIe スタイルの Cisco モジュラ RAID コントローラ カード (SAS/SATA)。 • サーバーの組み込み SATA RAID コントローラ用 PCIe スタイルのインタポーザカード。 <p>ストレージコントローラ オプションの一覧については、サポートされているストレージコントローラとケーブルを参照してください。</p>
RAID バックアップ	<p>サーバには、Cisco モジュラ RAID コントローラ カードで使用される SuperCap ユニットの冷却ファンの近くに取り付けブラケットがあります。</p>
統合ビデオ	<p>統合 VGA ビデオ。</p>